

(5) 水害体験者の話

①ねらいと得られる効果

過去の地域の水害を水害体験者の方から聞くことで、水害が身近な災害であることを認識させるねらいがあります。また、水害に対する知恵を知ることで水害に備える意識を高揚させるねらいがあります。水害を身近に感じたり、水害に対する意識を高揚させることで地域防災力を向上させる効果を得られます。

②実施時の留意点

過去の水害の情報だけでなく、かつて地域で根づいていた水害に対する知恵や文化等を水害体験者の方にお話いただくことが必要です。また、過去の水害写真等を多く使用することで、実際の水害をイメージをすることが必要です。

③水害体験者の話の流れ

水害体験者の話のフロー図を以下に示します。

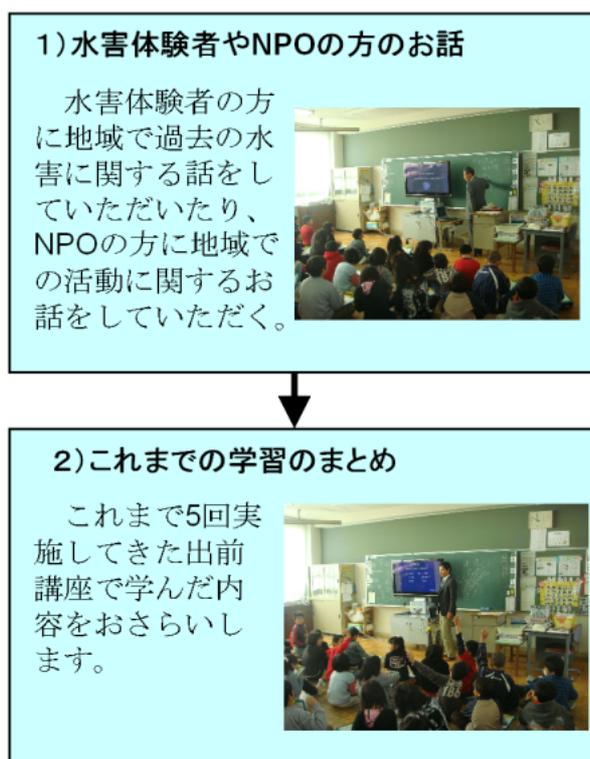


図 30 水害体験者の話のフロー図

1) 水害体験者やNPOの方の話

水害体験者の方に過去の水害写真を用いて、過去に発生した水害に関するお話をしていただき、また地域に伝わる水害に関する知恵を紹介していただきます。また、NPOの方に地域で行っている河川に関する活動の紹介をしていただきます。



以下に、説明用のパワーポイントの例を示します。

- ・過去の水害写真を用いて、水害経験をお話していただきます。



- ・地域に伝わる水害に関する知恵を紹介していただきます。



2) これまでの学習のまとめ

これまでに5回(1)自然観察、(2)川と地域の関わり、(3)通学路危険危険箇所調査、(4)R-DIG・子どもハザードマップの作成、(5)水害体験者の話)実施してきた出前講座の内容をおさらいします。



以下に説明用のパワーポイントの例を示します。

白鳥川学習(第1回)
～川の自然観察会～

2

天気も良くて楽しかったね!

流れがあってひざより深いと、前に歩けなかったよ!!

白鳥川学習(第2回)
～地域と川との関わりー川のカタチと治水・利水・環境、まちの配置～

7

- 白鳥川・日野川のカタチと、
 - 水害
 - 水利用、暮らし
 - 環境との関係について
- 泥水実験
白鳥川から持ってきた泥を入ると、バケツの底が見えなくなる。

川のカタチと、私たちの暮らしや環境には深い繋がりがあることが分かったね。

水害で避難するときには、足元に注意が必要ね。

白鳥川学習(第3回)
～いざ浸水! 避難時にどこに注意??～

1 段差のあるところ
2 橋のない水路、3 マンホール、
4 つまづきそうな物が異物

石垣で高くなっているところは、安心ね!

白鳥川学習(第4回)
～子どもハザードマップの作成・発表会～

現地の様子を思い出しながら、色を塗っていきます。